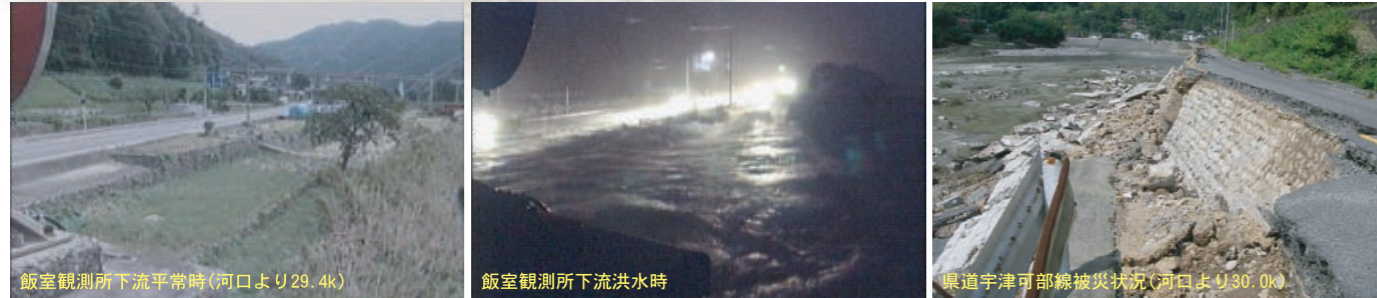


太田川の治水(床上浸水対策)

床上浸水対策特別緊急事業

平成17年9月に発生した台風14号による洪水は観測史上最高の水位を記録し、太田川中・上流部では床上浸水284棟、道路冠水による通行不能箇所は38箇所にもものぼり、沿川被害に加え孤立化する集落も発生しました。



この洪水と同規模の洪水が再度発生しても、家屋の浸水被害が起こらないよう、平成17年度より広島市安佐北区の筒瀬・宇津地区及び安芸太田町の坪野地区、平成18年度補正予算により、広島市安佐北区今井田地区の合計4地区において築堤等の改修に着手しました。

平成19年度からはこれらの地区に加えて、太田川中・上流域において

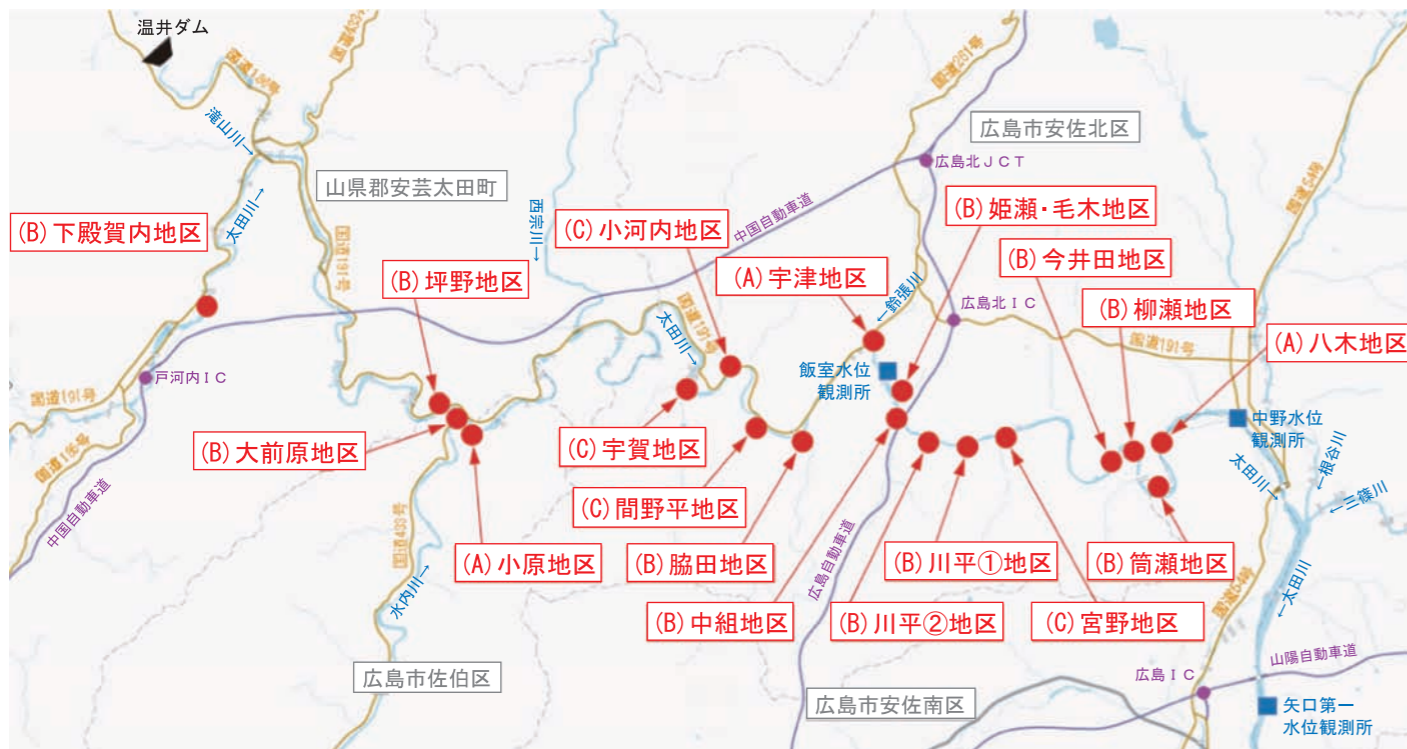
- ①家屋の床上浸水被害が発生した地区
- ②要援護者施設の浸水被害が発生した地区
- ③避難所が浸水した地区

について一般の河川改修事業よりさらに早期の整備が可能となる「直轄床上浸水対策特別緊急事業」の採択を受け、平成19年度より概ね5ヶ年で広島市安佐南区1箇所、安佐北区13箇所、佐伯区2箇所、安芸太田町の2箇所の計18箇所において再度災害の防止を図るとともに、環境や生態系に配慮した事業整備を行い、築堤や宅地高上げ、河道掘削等を実施していきます。



地形・居住形態に応じた対策

整備方式は、浸水被害箇所の地形特性、居住形態に応じて(A)連続堤、(B)輪中堤、(C)宅地高上げに分類されます。



(A) 連続堤方式 (3地区)

○河川沿いの平地に人家が連担している地区
(例：安佐北区安佐町宇津地区)

浸水面積 : 10ha
床上浸水家屋 : 20戸
床下浸水家屋 : 6戸

連続堤による整備

(B) 輪中堤方式 (11地区)

○河川沿いの平地の一部に人家が立地している地区
(例：安佐北区可部町今井田地区)

浸水面積 : 3.3ha
床上浸水家屋 : 28戸
床下浸水家屋 : 2戸

輪中堤による整備

事業実施イメージ(連続・輪中堤方式)

水位低下 | 被災水位 | 対策後水位 | 盛土(築堤) | 河床掘削 | 床上浸水被害の解消

筒瀬地区整備状況 (平成22年1月)

(C) 宅地高上げ方式 (4地区)

○浸水が頻発している河川沿いの道路に隣接して人家が立地している地区 (例：安佐北区安佐町宇賀地区)

浸水面積 : 1.8ha
床上浸水家屋 : 9戸
床下浸水家屋 : 3戸

道路の高上げと一体となった宅地の高上げ

事業実施イメージ(宅地高上げ方式)

水位低下 | 被災水位 | 対策後水位 | 盛土(宅地高上) | 河床掘削 | 床上浸水被害の解消

事業実施状況 (今井田地区)

今井田地区は台風14号の出水により、床上浸水家屋28戸、床下浸水家屋2戸と太田川床上浸水対策特別緊急事業を実施する18地区の中でも被害が大きかった地区の一つです。川沿いの平地部に家屋が密集していることから、これらの家屋を洪水から守るための輪中堤を整備しています。平成18年度から事業に着手しており、早期完成を目標に工事を実施しています。

